

総合的な 学習の時間	第1学年	呉市立天応中学校	指導者 米谷伸幸, 榎尾あさみ
単元名	「みんなを守る 天応を守るⅢ」 ～ 絆をつよく！あの人を守ろう！ ～		令和4年10月25日(火) 1A教室 計23人 (特別支援学級在籍生徒 2人含む)

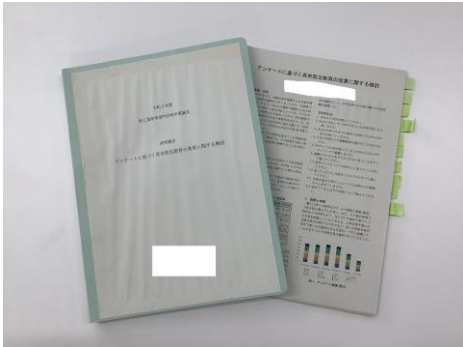
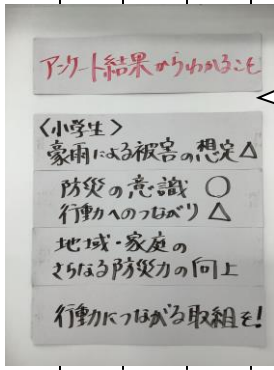
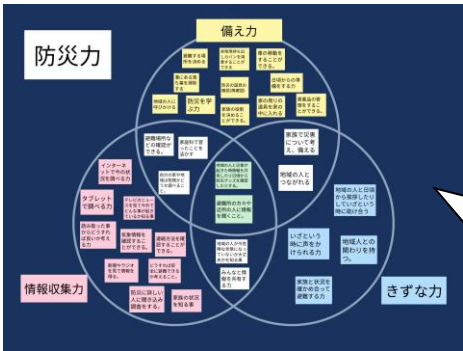
1 単元のデザイン

「本質的な問い」・「単元を貫く問い」	
本質的な問い	天応で育った自分は、どう生きるのか。
単元を貫く問い	地域の防災力を向上させるためにはどうすればよいだろう。
単元の目標	
<p>地域の人・もの・こととつながったり、防災に関する地域の現状を知って災害から命を守るための活動に取り組んだりすることを通して、災害の記憶を風化させず、他者と協働して防災に取り組む大切さを理解するとともに、地域の防災力を向上させる方法を探し求め、災害に強いまちづくりのために行動できるようにする。</p>	
単元（題材）について	
<p>本単元では、防災教育の一環として豪雨災害に対する備えや地域の防災力の向上に関する取組を題材として取り上げる。平成30年7月に起きた西日本豪雨災害を教訓として災害に対する備えを学び、実生活において、防災に関する具体的な行動につながる取組を考える学習が展開できる。</p> <p>本単元は、総合的な学習の時間における中学校区の系統をもたせるために、天応小学校第6学年総合的な学習の時間『防災・絆プロジェクト「みんなを守る 天応を守るⅡ～つながろう 天応～」』と関連をもたせた単元である。第6学年では「持続可能な災害支援」をキーワードに、未来を見据えた防災学習を進めてきた。一方、西日本豪雨災害から4年が経ち、地域の人々の中から、当時の記憶や災害に対する備えの意識が薄れ、個人レベルでの具体的な災害対策が十分にできていないという課題が明らかになった。そこで、本単元を通じて、防災に関する人々の具体的な行動を促す持続可能な取組を考えていくことは、これからの災害に強いまちづくりに向けて、大きな意味があると考えられる。防災・減災のために、より深い理解と貢献の姿が期待できる単元である。</p>	
生徒について	指導の工夫について
<p>① 小学校段階での学習を踏まえ、これまでの学習から防災に対する思いを醸成してきている。自分たちで課題を見付け、その解決に向けて意欲的に考えられる生徒が多い。授業の振り返りやワークシートの記述を見ると、単なる物品の備え（防災バッグ等）だけでなく、人と人とのつながりや未来を見据えた取組など、広い視野で考えている生徒がいる。</p> <p>② 4月に行った学習アンケートにおいて、「授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています」という項目に肯定的に回答した生徒の割合は100%であり、学習に目的意識をもって意欲的に取り組む生徒が多い。その反面、「授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています」という項目に肯定的に回答した生徒の割合は66.7%であった。具体的なデータを図式化して、それを考察しながら自分たちの考えを導き出すことに苦手意識をもっている生徒がいる。</p> <p>③ 学習アンケートにおいて、「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています」という項目についての肯定的な回答の割合は、4月は95.2%であったのに対し、7月は81%と低下している。理由を明らかにしたり相手意識をもって考えさせたりすることを継続して指導していく必要がある。</p>	<p>① 小学校段階で学んできたことを継続して提示しながら、学習のつながりや深まりを意識させる。また、実際の声やデータ（外部人材との学習やアンケート調査等）から分かる現実的な課題に出会わせることにより、探究課題を自分事として捉えさせ、意欲的に学習できるようにする。</p> <p>② 収集したデータを表にまとめさせ、必要に応じてグラフにするなど、データを見える化させ、それをもとにしながら自分の考えを導き出せるようにする。</p> <p>③ アンケート調査に対して、事前に自分なりの仮説を立てさせ、その仮説と結果を見比べ、考察をさせる。その考察をもとに、対象を明確にして相手意識をもたせ、自分の考えとその理由を明らかにしながら、防災力を高める方法を考えさせる。</p>

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①災害に強いまちづくりについて、災害の記憶を風化させないことや他者と協働して防災に取り組むことの大切さを理解している。【知①】 ②学んだことをもとに自分たちにできることを考え、適切な方法で調べたり実行したりしている。【知②】 ③地域の防災力を向上させる方法について探究してきたことで、自分の行動が災害に強いまちづくりに深く関わっていることに気付いている。【知③】	①災害に強いまちづくりをするために必要なことを考えながら課題を設定し、解決に向けた取組を見通しをもって計画している。【思①】 ②課題を解決するために必要な情報を、視点をもって幅広く収集している。【思②】 ③目的に応じて情報を分析したり、相手意識をもって整理したりしている。【思③】 ④地域の防災力を向上させる方法について、相手意識をもって自分の考えを表現している。【思④】	①課題解決に向けて、伝えたいことを明確にしながら自分の考えを表現しようとしている。【主①】 ②自分にできることを具体的に考え、友達と協力しながら実行しようとしている。【主②】 ③学んだことを生かし、災害に強いまちづくりのために、継続して地域に貢献しようとしている。【主③】

3 小単元の計画（第二次、16時間）

次	時	学習内容	評価規準			他教科との関連	
			知	思	主		
第二次	1 2 3 4	課題の設定 ・呉高専が実施したアンケートの結果を知り、防災についての地域の課題を知る。 ・「防災力」についてブレインストーミングを行い、課題解決の方法を考える視点をもつ。 (例：備え力、情報収集力、きずな力)		①		ワークシート タブレット 生徒観察	国語科 「防災に関するデータ」
		 <p>参考にしたアンケート調査</p>  <p>キーワード 「防災力の向上」 「具体的な行動を促す」</p>  <p>【ブレインストーミング結果】 「防災力」とは、「備え力」「情報収集力」「きずな力」の3要素で構成されているとして、自分たちの考えをまとめた。</p>					
		・視点ごとにグループを構成する。 ・視点に沿って、課題を解決するためにどんな取組ができるか考える。【主】					
		課題② 防災に関する地域の課題を解決し、地域の防災力を向上させる取組をしよう。					

5
6
7
8

情報の収集

- ・課題を解決するために必要な情報と、それを収集する方法を考える。
- ・自分たちが考えた方法で情報を収集する。
- ・収集した情報を整理・分析しやすいようにまとめる。

②

ワークシート
タブレット
生徒観察

数学科
「データの整理と分析」



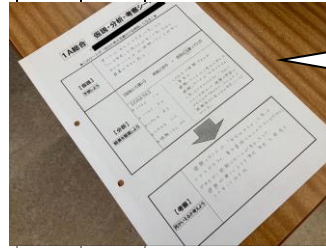
地域の避難所見学



呉高専の学生さんとの防災学習



教室掲示の工夫



仮説・分析・考察シート

整理・分析

9
10
11

- ・収集した情報をもとに、どんな取組をどんな内容で行うか考え、整理する。
(例：高齢者対象のスマホ教室、防災教室、機関誌の発行等)

③

制作物
ワークシート
生徒観察

理科科
「身のまわりの物質」



グループごとの情報整理



ICTを活用した情報共有

12

- ・自分たちが考えた取組に対して外部から評価をもらうなど、必要に応じて、再度、情報収集を行う。



外部人材を活用した取組内容の検討

まとめ・表現

13
14

- ・自分たちで考えた取組の内容をまとめ、実行に向けた準備をする。

①

① ワークシート
生徒観察

実行

15

- ・自分たちが決めた取組を実行する。
(例：高齢者対象のスマホ教室を開き、防災に関する情報を検索できるようにする。等)

④

② 制作物
生徒観察

16 **振り返り**
 ・本単元を通じてわかったことや学んだこと、疑問に思ったことなどを振り返らせ、次の学習につなげる。

③ ③ ③

提出テキスト・振り返りの記述

国語科
「みんなであるから大丈夫の怖さ」

生徒の記述
変容

before

after

単元を貫く問い
「地域の防災力を向上させるためにはどうすればよいだろう。」

【単元のはじめ】

もしその時のために日頃から食料の準備をしておく。

【単元のおわり】

総合の時考えた、地域の方との交流を増やすことが一番大事だと思った。もしもの時に頼れる、頼られることもあるかもしれないので、そこである程度相手のことを理解しておくことが大切だ。

単元を貫く問い
「地域の防災力を向上させるためにはどうすればよいだろう。」

【単元のはじめ】

・砂防ダムをつくる。
・防災グッズを用意してすぐ避難できるようにする。
・防災に関心を持ってもらう。

【単元のおわり】

1人1人に町内放送やインターネットなどの情報が入って適切に行動できるようにする。災害が起きたときの避難経路や適切な行動がかけられたマニュアルをまとめておく。

単元を貫く問い
「地域の防災力を向上させるためにはどうすればよいだろう。」

【単元のはじめ】

呼びかけをしたり、地域全体で避難訓練を行うなどの取り組みをすればよいと思う。

【単元のおわり】

呼びかけや、ポスターなども「防災力」を向上させるよい案だと思うけど、一方的な方法だけでなく、実際はどうか、地域の方々の声や意見を聞き、そこから考えたことを実際、やってみるとよいのではないかなと思はす。

4 本時に関わる単元ルーブリック

観点	思考・判断・表現		
評価規準	目的に応じて情報を分析したり、相手意識をもって整理したりしている。思③		
ルーブリック	A	B	C
	目的に応じて情報を分析したり、改めて収集したい情報や考えを裏付ける根拠を挙げるなど、相手意識をもって整理したりすることができる。	目的に応じて情報を分析したり、相手意識をもって整理したりすることができる。	目的に応じて情報を分析したり、相手意識をもって整理したりすることができていない。

5 本時の展開 (本時 9/16)

(1) 本時の目標

地域の防災力を向上させる取組について、防災力の視点に沿って立てた仮説に基づくアンケート分析やインタビューの内容分析を行うことを通して、自分たちが考える取組をより防災力を向上させられるような方法を見付けることができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	◇指導上の留意点	◎ 評価規準 (評価方法) ◆ 「努力を要する」状況と判断した児童生徒への手立て
つかむ	課題の設定 1 本時のめあてを確認する。	◇ 本時まで取組を少しずつ考えてきているが、考えを裏付ける根拠をしっかりと、さらにより取組にできるようにグループで協力して考えを出していくことを確認する。	防災力の視点 (3つの力) ①備え力 ②情報収集力 ③きずな力 【グループ数】 備え力1 備え力2 情報収集力1 情報収集力2 きずな力
	(めあて) 仮説・分析・考察シートをもとに、より防災力をアップできる方法を見つけよう。		
	情報の収集 2 「仮説・分析・考察シート」を使い、事前に立てた仮説と結果との差や、前時にまとめた「考察」の内容を確認する。(個人) (考察が不十分であれば、必要に応じて加筆する。)	◇ アンケート結果をまとめたスプレッドシートや高齢者を対象に行ったインタビューシートを活用しながら確認させる。 ◇ 必要に応じて、ワークシートに加筆させる。 ◇ 単純に仮説と差があるかないかだけでなく、どのような回答があるのかも合わせて確認させる。	
確かめる・深める	整理・分析		◎目的に応じて情報を分析したり、相手意識をもって整理したりしている。思③ (生徒観察・ワークシート) 思① ◆同じグループの生徒の意見を参考にさせる。
	【中心発問】 「より〇〇力 (各チームの防災力の視点) をアップさせるにはどうすればよいでしょう。」 「考察の内容を参考にしながら考えてみましょう。」		
	3 「考察」の内容をグループで共有する。 4 ④考察をもとに、より防災力を向上させられるような方法を考える。	◇ 考察をもとに、自分たちが想定している対象や取組を吟味させる。 ◇ 対象と視点を意識して取組を考えさせる。 (例：対象→保護者、視点→備え力・災害が起りそうな時の対応について事前に家族で話し合いをしておくことができるようにするために 等)	
まとめ・表現 5 各グループで考えている取組の現状を発表し合い、自分のグループの取組について、次時以降、考えていきたいことをまとめる。	◇ ロイロノートの共有ノートに、対象と視点、そして取組を書かせ、考えを見える化する。 ◇ 考えを裏付ける根拠をもって発表させる。 ◇ 他のグループの発表を参考にして、自分たちのグループの取組をより良くできる考えをもてるようにさせる。		

(深い学びにするための「しかけ」)
 自作したアンケートや高齢者対象のインタビューについて事前に仮説を立てさせ、それに基づいて結果の分析をさせることで、考えのギャップを感じ、自分事として意欲的に取組を考えられるようにする。さらに、考察をもとに取組を考えさせ、より現実に即した取組内容とさせていく。

振り返る	6 本時のまとめをする。	◇ 本時を通じて分かったことや何をすることが大切なのか、何をやる必要があるのかなどをまとめさせる。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(まとめの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「天応の人は防災の意識が高いので、“避難する”と回答する人が多くなるはず」という仮説を立てたが、アンケートの結果は、“避難する”と回答した人は少なかった。理由を見ると、「土砂災害警戒情報」や「キキクル（危険度分布）」を見ただけでは、避難するのが良いのかどうか分からないという回答があった。私は「情報収集力」グループなので、保護者が家族みんなの命を守るために必要な情報を集められるような取組を考えたい。（取組をより良くするための方法の発見） ・「子どもが『避難しようよ』と言っても、最終的には保護者の判断が強くて、避難しないと回答する人が多くなるはず」という仮説を立てたが、アンケートの結果を見ると、大体予想どおりだった。避難するかどうか、どのように行動するかは保護者の考えが強いようだ。私たちのグループは対象を「保護者」にしている、今日の授業を受けて、対象はやはり「保護者」のままで良いと思った。（考えを裏付ける根拠の発見） 等 </div>		
	7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。	◇ 今後の学習に向けて、考えたいことや集めたい情報などを考えさせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(振り返りの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業の内容から、情報収集力を高めるために、危険を回避する情報にはどのような情報があるのか、それが実際の場面ではどのように使えるのかを調べ直していきたい。 ・防災における行動は、大人の考えが強く出ているので、大人が「行動しよう」と思えるような取組を考えていきたい。 </div>			

6 本時の板書計画 等

防災力アップ プロジェクト ～3つの力を高めよう～	めあて 仮説・分析・考察シートをもとに、より防災力をアップできる方法を見つけよう。						
防災力 (3つの力) ・備え力 ・情報収集力 ・きずな力	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">誰が</td> <td style="text-align: center;">学習の流れ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">どんなことができるようにするために</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">どんなことをするか</td> <td></td> </tr> </table>	誰が	学習の流れ	どんなことができるようにするために		どんなことをするか	
誰が	学習の流れ						
どんなことができるようにするために							
どんなことをするか							
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">まとめ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">※生徒の発言からポイントを絞ってキーワードとして記述していく。</td> </tr> </table>		まとめ	※生徒の発言からポイントを絞ってキーワードとして記述していく。				
まとめ							
※生徒の発言からポイントを絞ってキーワードとして記述していく。							

TVモニター提示 (ロイロノートの共有ノートを画面提示)

各チームの現在地				
備え力① (1) 誰が (2) どんなことができるようにするために (3) どんなことをするか	備え力② (1)・・・ (2)・・・ (3)・・・	情報収集力① (1)・・・ (2)・・・ (3)・・・	情報収集力② (1)・・・ (2)・・・ (3)・・・	きずな力 (1)・・・ (2)・・・ (3)・・・